

---

# 殺戮の悪魔

ゲルニカ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

殺戮の悪魔

### 【Nコード】

N7110C

### 【作者名】

ゲルニカ

### 【あらすじ】

酷いいじめによって壊れた14歳の中学生

僕は、殺戮をしてしまった。

きっかけは、酷すぎるいじめによる

誰も信用しない．．．．．信用しない。

そう自分に言い聞かせた

自分が全て．．邪魔する者は皆殺し

それが僕の中のルールに決めた

そして．．．．．。

僕をいじめていたみんなを殺戮し始めた。

まずは、いじめ軍団のリーダーの斎藤

斎藤を夜１０時に公園に呼び出し背後から包丁で心臓を突き刺し．．

．その後首をハサミでちぎりつつた

その後は、いじめ軍団を公園に呼び出し縄で縛ってガソリンをまいて火をつけ終わり。

髪の毛の焼けた臭いは、とてつもなく嫌な臭いだ  
そう思っていると警察がきてわざと捕まった

この僕が起こした事件は、あまりにも残酷であるらしく  
僕の名前が未成年にも関わらず顔と名前が公表された

不動柚木ふどうゆき１４歳は、いじめによる精神不安定で被害者の６人を殺害．  
．．．こうニュースで報道されていた。

僕はこれで自由だ。

両親は、この事件を苦に自殺

これで僕を縛り付ける者はいない。

今日はなんて愉快な日なんだ．．．．．とうとう独りぼっちかあひゃひゃひゃひゃ．．．。

僕は、可笑しくなった。そして僕は、少年院に入った。何だかみんな僕を歓迎してくれては、いないらしい。

部屋に入った瞬間

五人ぐらいリンチされた。

また酷いいじめが始まった。

またか．．．．．。

僕は、殺戮をするために作戦を練った。

そして寝込みを一人、一人襲う事にした。

またいつものように僕は、いじめられてみんなが寝るのを待った。

あたりが静かになった午前三時頃みんなは、のんきにイビキをかきながら寝ている

手には、隠していたロープ。

僕は、一人、一人絞殺していった。

人間って何て脆いんだろう？

たかがロープ一本で死ぬんだもん．．．．．。

その日、僕は、脱走をした。

ただ外に出ればいい、ただ外に出れば脱走できる。

僕は、自分の力じゃないような物凄い力で鍵を壊した。

そして外に出て塀に向かって走った。

僕は、ウサギのように塀を飛びこした。

やっとこれで自由か．．．．．。 街を歩いて行くと

人とすれ違う

人を見るだけで

なぜか殺したくなってしまう  
なぜか食べてみたくなる

今思った．．．．．。

僕は、狩られる側であって狩る側

僕は、猛獣であって人間は、僕のオモチャ

僕は、これから

孤独で寂しい殺戮の悪魔

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7110c/>

---

殺戮の悪魔

2011年10月4日08時34分発行